

「びわ湖の日」についてのアンケート結果

7月1日は「びわ湖の日」です。滋賀で暮らす人々の「びわ湖を守りたい」という思いから生まれた象徴的な日であり、県では、県内および県外(下流域)の皆様が「びわ湖の日」を知り、琵琶湖に思いを寄せ、琵琶湖と関わっていただくための取組を実施しています。

このアンケートは皆さんからの率直なご意見をいただき、「びわ湖の日」の今後の取組の参考にすることを目的に実施しました。

★調査時期:令和6年8月

★対象者:県政モニター299人

★回答数:253人(回収率 84.6%)

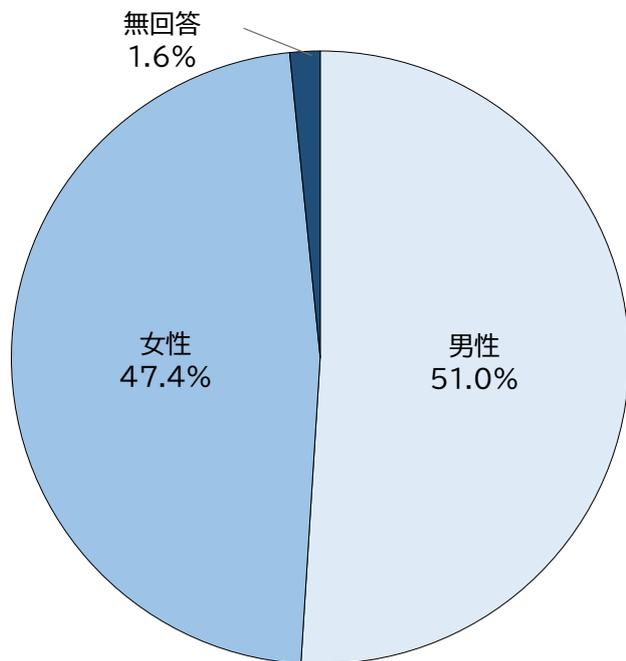
★担当課:琵琶湖環境部 環境政策課

(※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

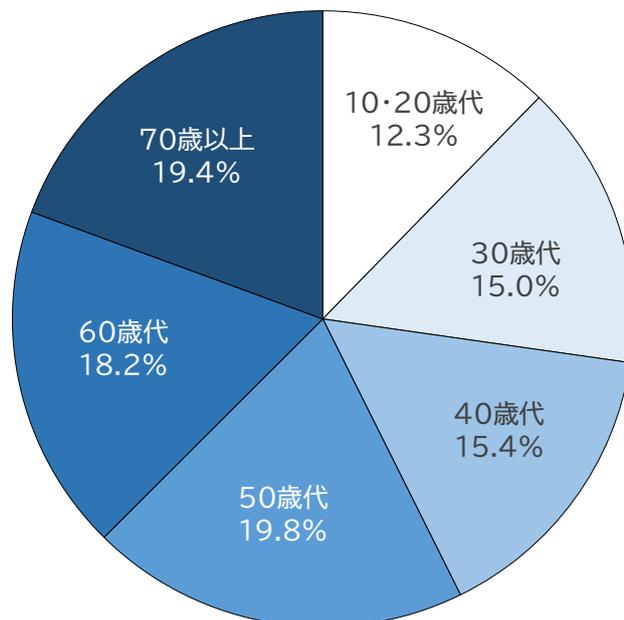
◆性別

項目	人数	割合
男性	129人	51.0%
女性	120人	47.4%
無回答	4人	1.6%
合計	253人	100.0%



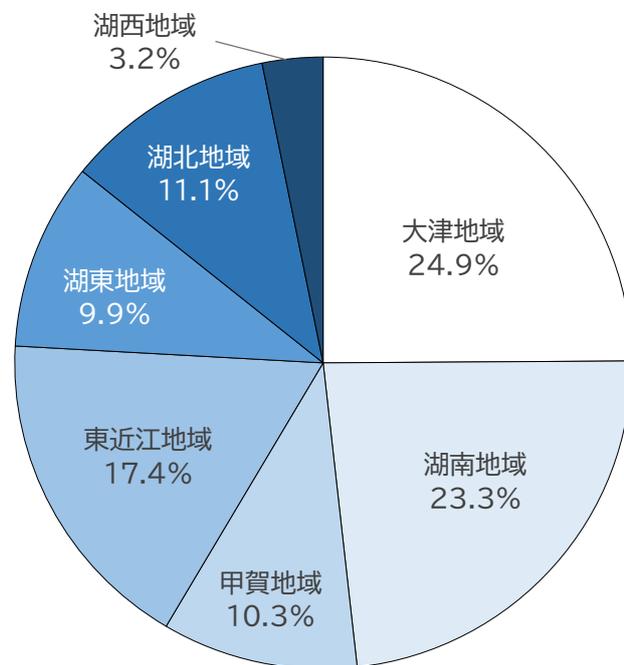
◆年代

項目	人数	割合
10・20歳代	31人	12.3%
30歳代	38人	15.0%
40歳代	39人	15.4%
50歳代	50人	19.8%
60歳代	46人	18.2%
70歳以上	49人	19.4%
合計	253人	100.0%



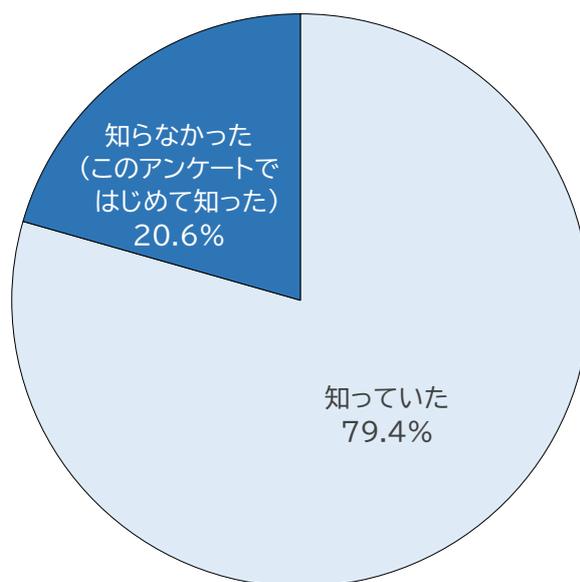
◆地域

項目	人数	割合
大津地域	63人	24.9%
湖南地域	59人	23.3%
甲賀地域	26人	10.3%
東近江地域	44人	17.4%
湖東地域	25人	9.9%
湖北地域	28人	11.1%
湖西地域	8人	3.2%
合計	253人	100.0%



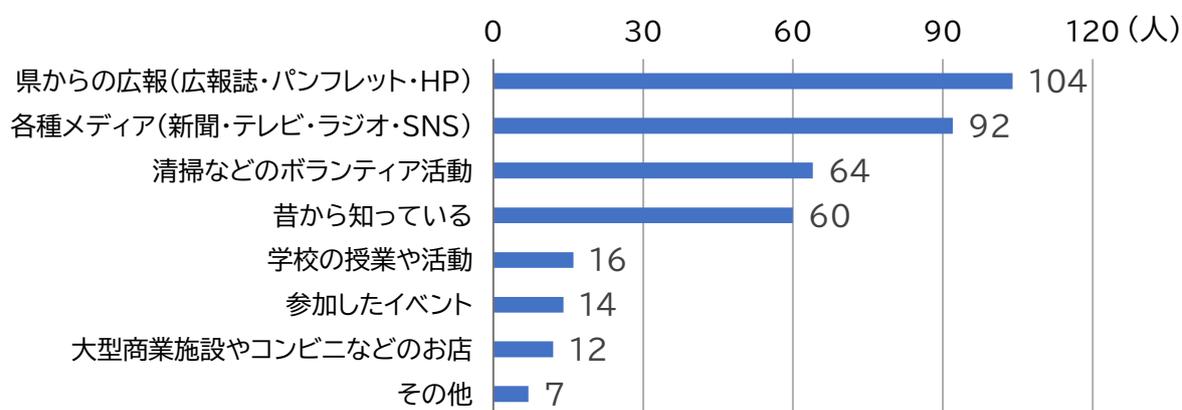
問1 7月1日が「びわ湖の日」であることを知っていましたか。(n=253)

項目	人数	割合
知っていた	201人	79.4%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	52人	20.6%
合計	253人	100.0%



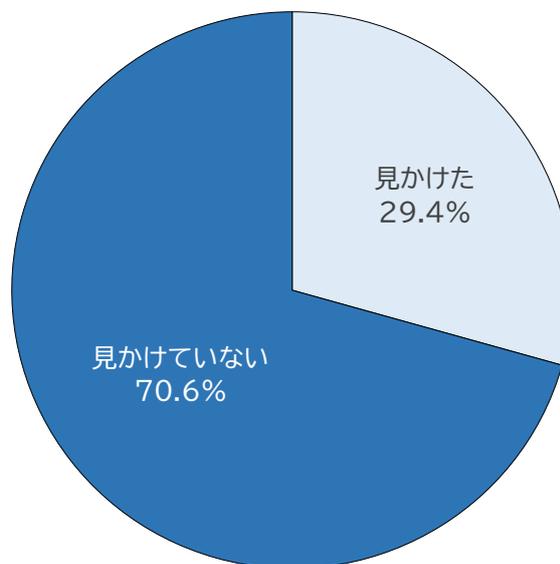
問2 問1で「知っていた」を選択された方におたずねします。「びわ湖の日」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=201)

項目	人数	割合
県からの広報(広報誌・パンフレット・HP)	104人	51.7%
各種メディア(新聞・テレビ・ラジオ・SNS)	92人	45.8%
清掃などのボランティア活動	64人	31.8%
昔から知っている	60人	29.9%
学校の授業や活動	16人	8.0%
参加したイベント	14人	7.0%
大型商業施設やコンビニなどのお店	12人	6.0%
その他	7人	3.5%



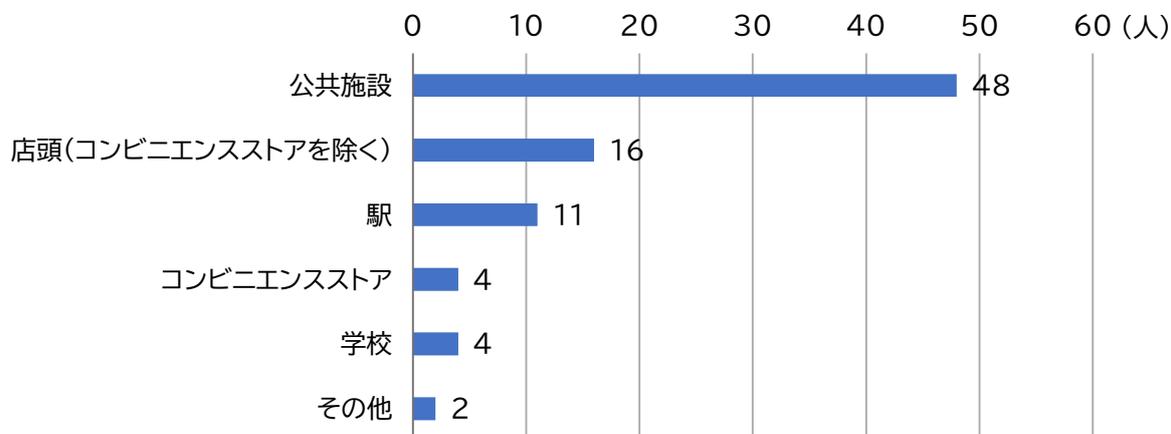
問3 問1で「知っていた」を選択された方におたずねします。今年度「7月1日びわ湖の日」のポスターを見かけましたか。(n=201)

項目	人数	割合
見かけた	59人	29.4%
見かけていない	142人	70.6%
合計	201人	100.0%



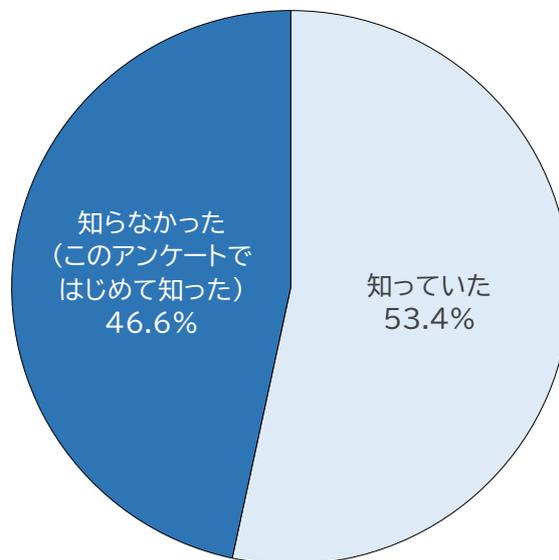
問4 問3で「見かけた」を選択された方におたずねします。どこで「7月1日びわ湖の日」のポスターを見かけましたか。(回答チェックはいくつでも。n=59)

項目	人数	割合
公共施設	48人	81.4%
店頭(コンビニエンスストアを除く)	16人	27.1%
駅	11人	18.6%
コンビニエンスストア	4人	6.8%
学校	4人	6.8%
その他	2人	3.4%



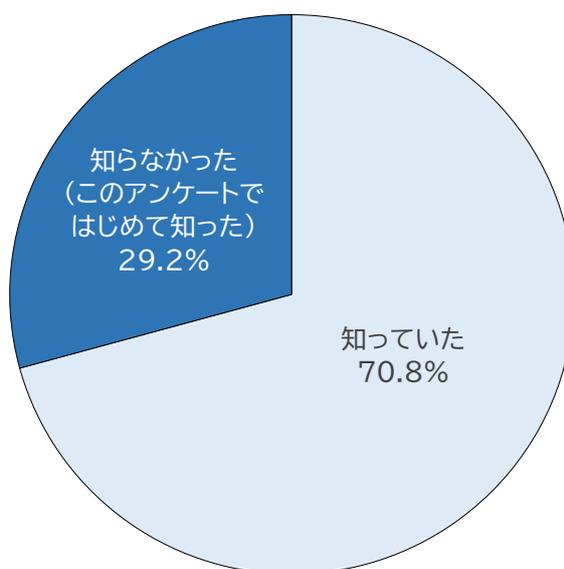
問5 「びわ湖の日」は、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」(1977年に琵琶湖で淡水赤潮が大規模に発生し、県民による石けん運動の盛り上がり等を背景に施行)が施行された日を記念して定められました。こうした背景を知っていましたか。(n=253)

項目	人数	割合
知っていた	135人	53.4%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	118人	46.6%
合計	253人	100.0%



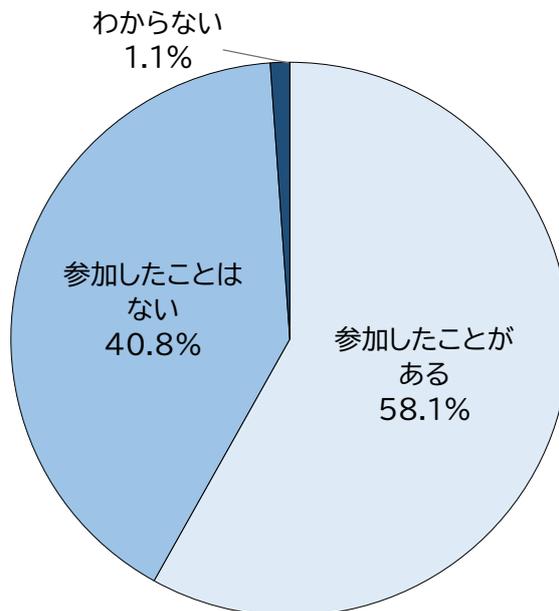
問6 「びわ湖の日」は「滋賀県環境基本条例」において、環境保全について理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高める日として定められています。これまで、「びわ湖の日」を中心に、県内一斉に清掃活動が行われてきたことを知っていましたか。(n=253)

項目	人数	割合
知っていた	179人	70.8%
知らなかった (このアンケートで はじめて知った)	74人	29.2%
合計	253人	100.0%



問7 問6で「知っていた」を選択された方におたずねします。これまで、「びわ湖の日」の一斉清掃活動(びわ湖をきれいにする運動)に参加したことがありますか。(n=179)

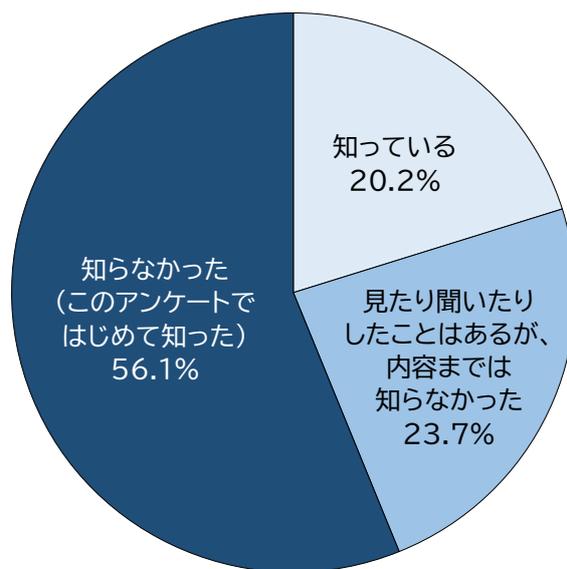
項目	人数	割合
参加したことがある	104人	58.1%
参加したことはない	73人	40.8%
わからない	2人	1.1%
合計	179人	100.0%



問8 「びわ活」(*)を知っていますか。(n=253)

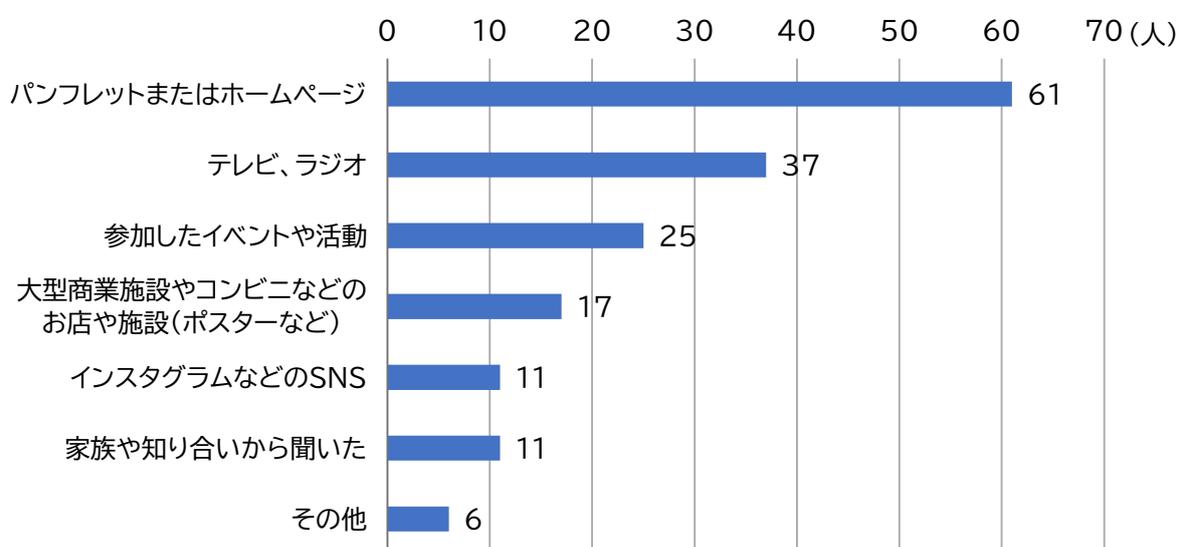
※「びわ活」とは、びわ湖の日(7月1日)から山の日(8月11日)までを重点期間とした、琵琶湖を守る、琵琶湖と暮らす、琵琶湖と親しむ、といった琵琶湖と関わるさまざまな取組や活動をいいます。

項目	人数	割合
知っている	51人	20.2%
見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった	60人	23.7%
知らなかった(このアンケートではじめて知った)	142人	56.1%
合計	253人	100.0%



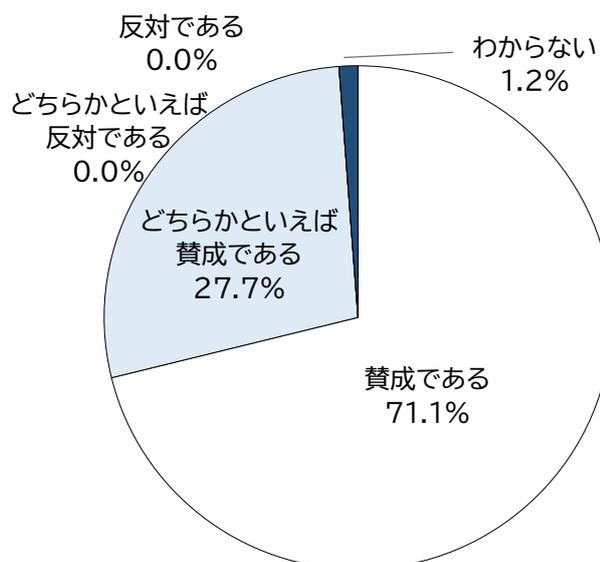
問9 問8で「知っている」「見たり聞いたりしたことはあるが、内容までは知らなかった」と回答された方におたずねします。「びわ活」をどのようなきっかけで知りましたか。(回答チェックはいくつでも。n=111)

項目	人数	割合
パンフレットまたはホームページ	61人	55.0%
テレビ、ラジオ	37人	33.3%
参加したイベントや活動	25人	22.5%
大型商業施設やコンビニなどのお店や施設(ポスターなど)	17人	15.3%
インスタグラムなどのSNS	11人	9.9%
家族や知り合いから聞いた	11人	9.9%
その他	6人	5.4%



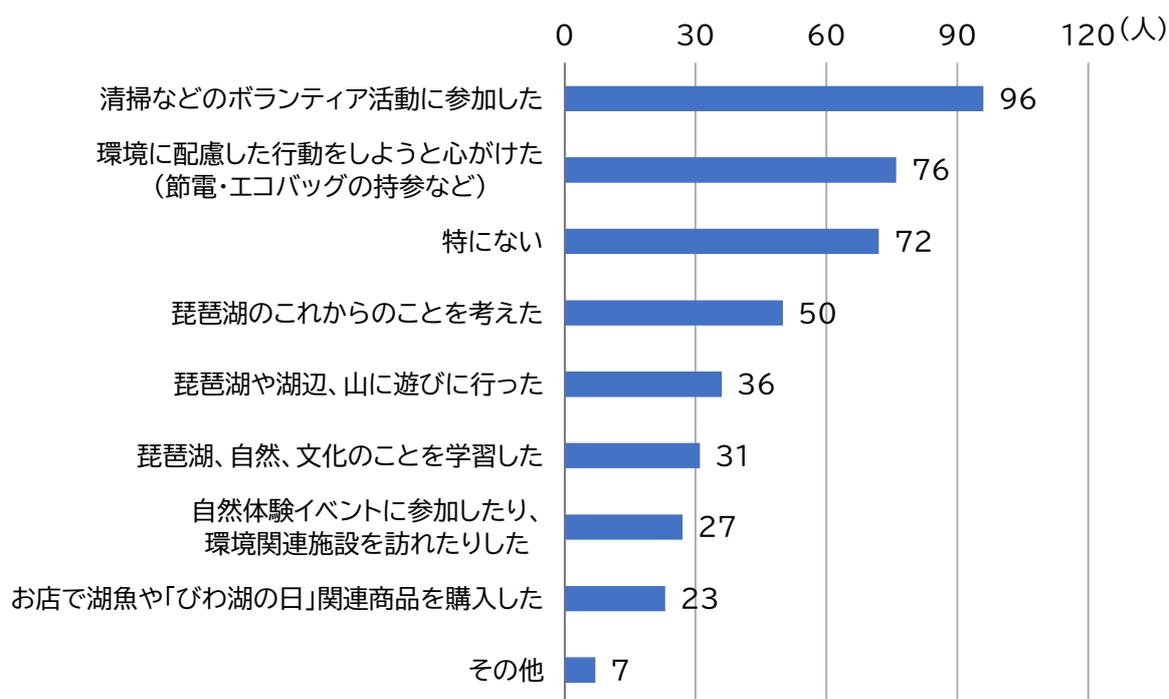
問10 「びわ活」では、森・川・里・湖・海のつながりを意識しながら、取組を進めています。「びわ活」を推進することについて、どのように思われますか。(n=253)

項目	人数	割合
賛成である	180人	71.1%
どちらかといえば賛成である	70人	27.7%
どちらかといえば反対である	0人	0.0%
反対である	0人	0.0%
わからない	3人	1.2%
合計	253人	100.0%



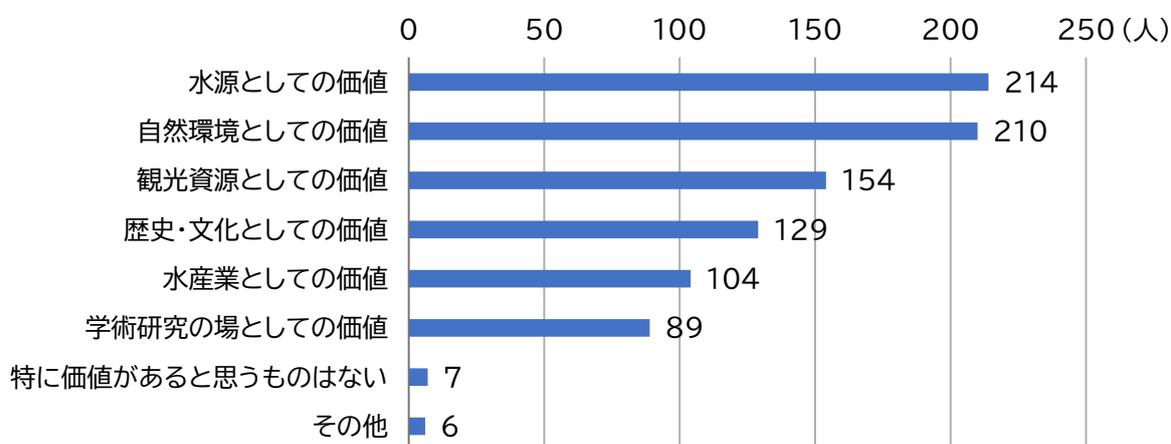
問11 今年、「びわ湖の日」や「びわ活」を意識して関わったことがあれば教えてください。（「特にな
い」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=253）

項目	人数	割合
清掃などのボランティア活動に参加した	96人	37.9%
環境に配慮した行動をしようと心がけた(節電・エコバッグの持参など)	76人	30.0%
特にな い	72人	28.5%
琵琶湖のこれからのことを考えた	50人	19.8%
琵琶湖や湖辺、山に遊びに行った	36人	14.2%
琵琶湖、自然、文化のことを学習した	31人	12.3%
自然体験イベントに参加したり、環境関連施設を訪れたりした	27人	10.7%
お店で湖魚や「びわ湖の日」関連商品を購入した	23人	9.1%
その他	7人	2.8%



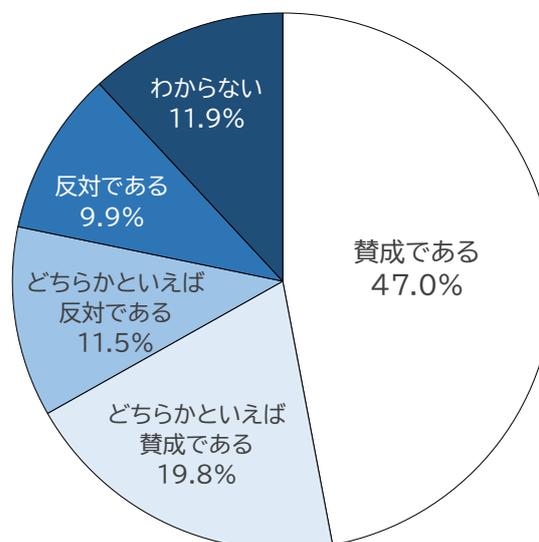
問12 琵琶湖には、自然環境や水源、学術研究など様々な価値があります。あなたが重要だと思う琵琶湖の価値とは何ですか。(「特に価値があると思うものはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=253)

項目	人数	割合
水源としての価値	214人	84.6%
自然環境としての価値	210人	83.0%
観光資源としての価値	154人	60.9%
歴史・文化としての価値	129人	51.0%
水産業としての価値	104人	41.1%
学術研究の場としての価値	89人	35.2%
特に価値があると思うものはない	7人	2.8%
その他	6人	2.4%



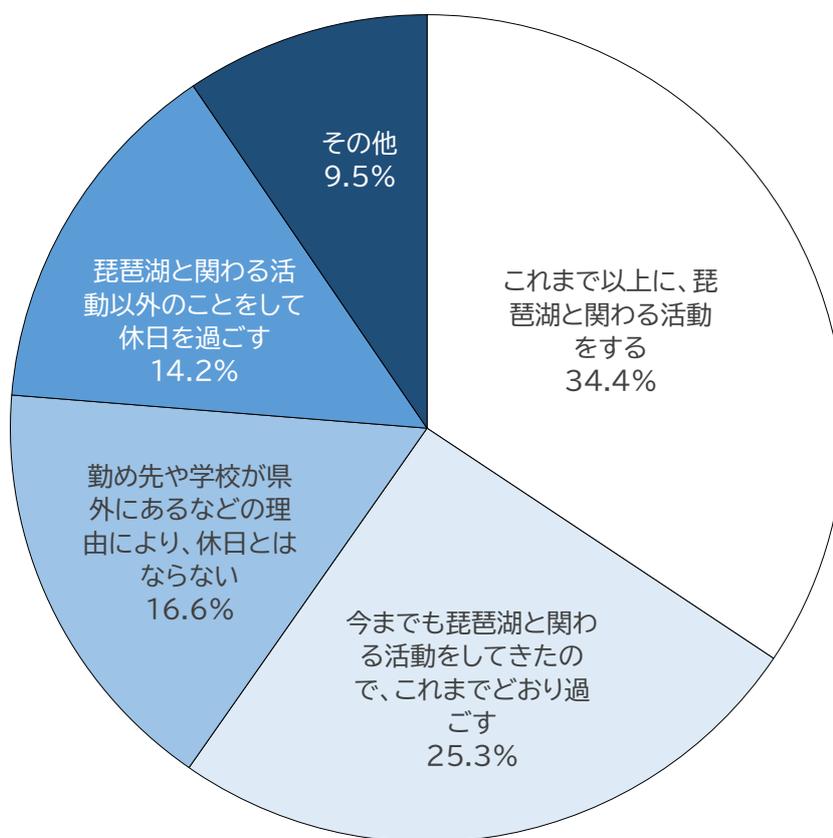
問13 7月1日「びわ湖の日」を県内において休日とすることについて、あなたはどのように思いますか。(n=253)

項目	人数	割合
賛成である	119人	47.0%
どちらかといえば賛成である	50人	19.8%
どちらかといえば反対である	29人	11.5%
反対である	25人	9.9%
わからない	30人	11.9%
合計	253人	100.0%



問14 7月1日「びわ湖の日」が県内において休日となった場合、どのようなことをして過ごしますか。(n=253)

項目	人数	割合
これまで以上に、琵琶湖と関わる活動をする	87人	34.4%
今までも琵琶湖と関わる活動をしてきたので、これまでどおり過ごす	64人	25.3%
勤め先や学校が県外にあるなどの理由により、休日とはならない	42人	16.6%
琵琶湖と関わる活動以外のことをして休日を過ごす	36人	14.2%
その他	24人	9.5%
合計	253人	100.0%



問15 「びわ湖の日」に関して、今後、県、事業者、民間団体等に対して期待することなどがありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・県民の日常生活や企業の作るものが環境にどのような影響を与えているのかの自覚を促す働きかけにもっと取り組んで欲しい。
- ・琵琶湖から離れた地域に居住する県民にとっても、びわ湖の存在感を高められる施策を期待する。
- ・幅広い年代にあわせて、それぞれにあったイベントなどで、集客を行い、楽しみながら学べる機会を作って欲しい。
- ・びわ湖の日を県内休日にする事で、県外の人たちにも広く知ってもらえることにつながると思う。
- ・びわ湖の日を休みにしても、琵琶湖と関わる活動をするかどうか分からないため、学校行事などに組み込んでもらえるほうがよい。
- ・滋賀県だけで休日とするのは無理があるかなと思う。大手企業や学校、市町村はできても一般ではこれ以上休日は増やせない。
- ・イベントや清掃活動のPRをさらに幅広く行くと、より多くの方々が集まるのではと思う。
- ・びわ湖の日を休日にして、お祭りなど、琵琶湖周辺で大きなイベントをすればよいと思う。
- ・清掃活動は7月には暑く、参加したい気持ちはあるが、その時点でやめようとなる。びわ湖の日は7月だが清掃活動は涼しい時期にしたほうが参加者も運営も安心して実施できるのでは。
- ・現在「びわ湖の日」の取組は、ほとんどが自治会の活動になっているためイヤイヤ参加しているという状況。県民のこのやらされ感を払拭して、県民全て、また県外者も自発的に参加できる雰囲気醸成すべく啓発活動などに取り組んでほしい。
- ・びわ湖の日一斉清掃のように、MLGs体操を県内各地で一斉開催するのも恒例になると面白いなと思う。
- ・びわ湖の日だけを宣伝するのではなく、その背景などを発信して行ってほしい。びわ湖があることが当たり前だが、百年後を見据えた保全活動を期待する。
- ・滋賀県に住んでいても湖に面していない地域では関心は薄いと思う。そういった地域の人たちにも関心がもてる取組が必要。
- ・自らホームページで一斉清掃の情報を探して1人で参加するというのはハードルが高く、退職後は興味はあっても一斉清掃に参加することがなくなった。もっと気軽に参加できれば。
- ・ごみ拾いをしていることは知っているが、びわ湖の日当日に特別何かをしているイメージがない。滋賀県にしかないものであるため、もっと滋賀県民にとって7/1が特別な日になったらよいと思う。
- ・芸能人が来たら、県民が琵琶湖一斉清掃にもっと参加すると思うし、その結果、琵琶湖への関心が広がると思う。
- ・やらされている意識より、自ら琵琶湖や環境保全の意識改革が必要に感じる。
- ・民間レベルで浸透していない。学校や職場での啓発が必要。
- ・未就学児でも楽しみながら琵琶湖の事を学べるイベントがたくさん増えると嬉しい。
- ・「琵琶湖の清掃」を大々的に全国にPRして観光事業の一環にしてはどうか。
- ・びわ湖の日の周知PR活動が不足しているように感じる。
- ・県民一体となって、もっと琵琶湖の大切さを意識して、琵琶湖保全に取り組みたい。